

市民と議会との意見交換会における

市民からの意見・要望事項について

令和 6 年 12 月 20 日

西予市議会

西予市長 管家一夫 様

市民と議会との意見交換会における
意見・要望事項について

西予市議会は議会基本条例第5条第4項に基づき、市民に開かれた親しみやすい議会にするため、毎年「市民と議会との意見交換会」を開催しています。

本年は各種団体を対象として、一般社団法人西予市移住定住交流センターの皆さん、西予市地域包括支援センターの皆さん、三瓶町魚類養殖事業者の皆さんから、市政についてのご意見やご要望をいただきましたので別紙のとおり一覧にして申し送りいたします。

令和6年12月20日

西予市議会議長 井関 陽一

No	意見・要望の内容	対象団体
1	<p>西予市移住定住サイト（海里山の憧れ暮らし）の充実について</p> <p>・「移住してみたい」「田舎暮らしをしてみたい」と考えている人がより簡単に移住希望先の情報を収集できる手段がホームページではないだろうか。</p> <p>移住フェアには参加できないが、田舎暮らしについて聞いてみたい、相談したいといったときに、「移住者向けの制度」や「移住者の体験談」「空き家情報」などホームページ上において、その地域の魅力や生活環境など知ることができる。また直接「問合せフォーム」から市担当者へ相談することもできる。</p> <p>現在、西予市では「西予市移住定住サイト（海里山の憧れ暮らし）」により情報発信がされているが、コンテンツの更なる充実と更新、問い合わせ対応などにより、西予市をもっと知ってもらうことが必要ではないか。</p>	西予市移住定住交流センター
2	<p>空き家対策について</p> <p>・西予市移住定住交流センターには、常に移住に関する相談があり、その中には住まいに関する問い合わせも少なくない。</p> <p>西予市では、空き家バンク制度を運用し、空き家の利活用に取り組んでいるが、今後、西予市移住定住交流センターと情報共有し、連携した空き家活用事業を進めることが必要ではないか。</p> <p>移住者のニーズに沿った空き家活用に取り組むことにより、更なる移住者の獲得や、まちの賑わいづくりに繋がるものと考える。</p>	西予市移住定住交流センター
3	<p>U J ターンの定住促進について</p> <p>・これまでの移住施策は、I ターン移住者を対象に積極的に推進してきているが、全国的に人口減少が進んでいる中で、人口の社会増減を緩やかにするためには、U J ターン移住者を対象とした移住促進がより高い定住率に繋がると考える。</p> <p>ターゲットを絞った移住フェアでの取り組みや、奨学金返済支援制度等の財政的支援の拡充に加え、今後、長期的に見て小中学生に向けた魅力あるまちづくり教育が必要ではないか。</p>	西予市移住定住交流センター

No	意見・要望の内容	対象団体
4	<p>地域包括支援センターの人員配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の地域包括支援センターの人員は、65歳以上の高齢者の6,000人に対し各職種1名以上の配置基準は満たしていると報告いただいた。しかしながら、本市は広域な面積を有しております、地域包括支援センターの業務は多岐にわたることから、配置基準を満たすだけでは職員に対する負担が大きいように推測される。今後、人材確保が困難になることも予測される中、今般法改正により職員の配置基準が柔軟化された。引き続き実情に即した人員配置をお願いしたい。 	西予市地域包括支援センター
5	<p>地域包括支援センター業務の住民への周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターが平成19年に開設されて以来、高齢者ハンドブックの作成等周知を行っているが、周知度がなかなか上がらないとのことであった。現在も社会福祉協議会や市ホームページへの掲載等により周知を行っているが、今まで以上に必要な人に伝わるよう、また、若い世代への周知度も上がるような情報発信ができるよう協力をお願いしたい。 	西予市地域包括支援センター
6	<p>地域連携室について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在両公立病院にある地域連携室は、在宅療養支援に向けての調整など医療機関、介護施設をはじめ行政や福祉に関わる多くの機関とを繋ぐ役割を担っており、包括支援センターにとっても非常に重要である。医療体制の変化に関わらず、これまでと同様に連携が取れるように配慮をお願いしたい。 	西予市地域包括支援センター
7	<p>若年層の人材確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産事業に限らず若年層の人材確保は産業の持続的な発展にとって重要な課題であり、若者の就業支援の施策が必要である。 ・県外から新卒社員が入社することが決定しているが、三瓶町に住む場所がない問題がある。市外から入ってくる人の住居について、空家活用などが市の施策でできなか。 	三瓶町魚類養殖事業者

No	意見・要望の内容	対象団体
8	<p>水産業に関する要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産に関する相談窓口が市にあるのか、また、相談したいと思っても市窓口に水産の知識があるか分からないので、どこから説明すれば良いか分からぬ。水産や養殖に知見のある職員を置いてほしい。ある程度の知識を持つ職員がいて、それが継承されていくような担当があれば非常にありがたい。 ・加工場の建設などを検討しており、国から半額補助が出る施策があるが、加工場となると多大な経費がかかり、半額負担といつても負担が大きい。残りの自己負担に対して市の補助はあり得るのか。 ・西予市は、一次産業への補助事業の中で農林、畜産業と比較して水産業への助成が不足していると感じるが、今後水産業への支援策は検討できないか。 	三瓶町魚類養殖事業者
9	<p>婚活イベント等結婚支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若年層の人材確保について」に関連して、そもそも若手不足の要因として人口減少の問題があり、結婚する人自体が少なくなっていると感じる。お見合い・婚活イベント等、結婚支援施策の更なる充実をお願いしたい。また、県の婚活アプリの情報を活用するなど、西予市版の婚活アプリを作ることができないか。 	三瓶町魚類養殖事業者